

～ひとに心 まちに風～  
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



# はむらの 教育



平成二十一年度「教育目標」

## 〈基本目標〉

羽村市教育委員会は、子供たちが、

知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

〇互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間

〇社会の一員として、社会に貢献しようとする人間

〇自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を重視します。

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図ります。

そして、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していきます。

〈基本方針〉

1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

2 「豊かな個性」と「創造力」の伸長

3 「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

4 「市民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進

No.17

平成21年(2009)7月1日発行

# 「はむすぽ」が 1周年を迎えました

6月19日、「はむすぽ」が1周年を迎えました。昨年の5月から本格的なプログラムを実施し、年間を通じて多くの事業を展開してきました。この1年間の数字から見てみました。

【408名】今年3月末現在の会員登録数です。1年目で400名を超える皆さんに会員登録していただきました。これからも、500名・600名を目標に魅力あるクラブを目指していきます。

【20事業】最終的なプログラム数です。年度当初は19事業でスタートしましたが、1事業追加して20事業実施しました。年間を通して実施する

バドミントンやヨガ。ちびっ子キャンプなど季節に応じたプログラム。ベビー&ママピクスなど6ヶ月未満の赤ちゃんと参加できるプログラムなど、様々な年代の方が参加できるよう工夫しました。

【5309名】事業の延べ参加人数です。20事業実施し、5000名を超える方々にスポーツの楽しさを味わっていただきました。その内、会員登録していないビジターの方の参加も1188名ありました。

【427日】事業の延べ実施日数です。その他「はむすぽ祭」など、体験型の無料プログラムも開催しました。



## はむら総合型スポーツクラブ 「はむすぽ」とは…

「はむすぽ」は、地域住民が主体となって設立したスポーツクラブで、様々なプログラムがあり、どなたでも参加できます。

年会費を納めて会員登録すると、安価な参加費で各プログラムが楽しめます。なお、会員登録がなくてもビジターとして参加ができるので、プログラム体験してから会員になることができます。全ての種目に指導者が付き、初めての方でも安心して参加できます。

### 「はむすぽ」お申し込みは

はむすぽ連絡事務所  
電話 042-519-5712  
メール info@hamu-spo.org  
火曜日：午後1時～3時  
木・土曜日：午前10時～正午

## スポーツコラム⑤ ～体質改善でメタボも解消？～

暑い夏がやってきます。薄着や水着など、体形が気になる季節になりました。この夏には間に合わなくても、時間をかけて体質改善しませんか？脂肪の多い身体は、成人病のリスクが高く、活動もおっくうになり、肉体的にも精神的にもストレスがかかっています。脂肪を減らし、筋肉量を増加させ、肉体的にも精神的にもストレス解消しましょう！今号から数回にわたり、体質改善について掲載します。体質を改善するためには何が必要なのか、どうすれば良いのでしょうか。最初は、代謝についてお話しします。

代謝には、生命を維持するために必要なエネルギー量を示す基礎代謝と、生活活動や運動による代謝の二種類あります。基礎代謝と生活活動や運動による代謝の合計が消費カロリーであるため、代謝がませば消費カロリーが増加し、体重が減少します。「筋肉量を増加させ、基礎代謝量があれば、効果的に減量ができる」という言葉をよく耳にしますが、筋肉の増加に伴う代謝量のアップは数%しかないため、目に見える効果ではありません。筋肉量を増やすために行う筋力トレーニングや、脂肪量を減らすために行う有酸素運動の代謝量の方が、何倍も効果があり減量も望めます。

基礎代謝の増加を目指すのではなく、有酸素運動や筋力トレーニングを増加するなど、日常生活を変え、体質改善に取り組みましょう。

次回、何をどれくらいすれば良いか、お話しします。

●問合せ 体育課

## 小・中学校一貫教育校情報コーナー⑤

### ～「小・中一貫教育」理解・啓発事業のお知らせ～

羽村市教育委員会では、現在、検討委員会を設置して検討を進めている小中一貫教育について、教職員、保護者、教育関係者等の皆様の理解・啓発を図る機会とするため、下記により講演会・説明会を開催します。

日時	平成21年7月27日（月）午後2時から4時30分まで
場所	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ大ホール
内容	（第1部）講演 「今、なぜ小中一貫教育なのか」 講師 名古屋大学名誉教授・早稲田大学特任教授 安彦 忠彦 先生 （第2部）羽村市の小中一貫教育の取組の現状について
対象	教職員、保護者、教育関係者等
参加費	無料
申込み	7月17日（金）までに、羽村市教育委員会教育部指導室に電話、ファクシミリ又はメールで申し込んでください。
主催	羽村市教育委員会
その他	当日の羽村市生涯学習センターゆとろぎは、大ホールのみの開館となります。 <問合せ> 羽村市教育委員会教育部指導室 電 話：042-555-1111 内線373、376 ファクシミリ：042-578-0131 E-mail：s701000@city.hamura.tokyo.jp



## 生涯学習センターゆとろぎ事業紹介 (財) 青梅佐藤財団との共催事業

今年度、羽村市教育委員会では、(財)青梅佐藤財団との共催により3つのコンサートと1つの音楽文化講座を実施または計画しています。

(財)青梅佐藤財団は、日本ケミカルコンデンサ(株)の初代社長佐藤敏雄氏のご遺志により、青梅の青少年の健全育成と社会福祉事業への貢献を目的として、昭和52年に設立された財団法人で、羽村市とは昨年度ゆとろぎで実施された「ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団コンサート」をきっかけとしてお付き合いが始まりました。このコンサートの入場料収入の一部は羽村市へ寄付され、今後のゆとろぎでの事業経費の一部として活用させていただく予定です。5月16日に西多摩地区各市町村教育委員会にもご後援いただいて開催された「国立音楽大学オーケストラ演奏会」は、満場の大喝采を得て、アンコールの拍手がなりやまないほどのすばらしい演奏会でした。このコンサートでも、入場料収入の一部が寄付されました。



また、6月23日には、昨年のコンサートのメンバーであるマリノ・フォルメンティ氏をお招きしてのピアノリサイタルを催しました。今後は、9月に国立音楽大学のブラスバンドの演奏会を、さらに、10月から12月にかけて、作曲家神津善行氏を講師に迎え、さまざまなジャンルのゲストを交えた音楽講座も開催する計画です。

これだけのコンサートや講座を、ゆとろぎで単独に行うことはこれまでは難しいものでしたが、(財)青梅佐藤財団との共催により実施が可能となり、さらに幅広い事業を展開していくことができました。これからの詳しい開催案内は「広報はむら」「ゆとろぎイベントガイド」「ゆとろぎ通信」などご案内していきますので、ぜひゆとろぎに足をお運びいただき、生の音楽をお楽しみください。

●問合せ 生涯学習センターゆとろぎ

新しい「生涯学習基本計画」の策定に着手します

羽村市では、平成24年度を初年度とする「生涯学習基本計画」を策定する予定です。この計画は、生涯学習に関する総合的な計画で、一人一人が生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することができるよう、生涯学習の充実と振興を図っていきます。

今年度は、計画の策定に向けてさまざまな準備を進めていきます。市民の皆さんの意見を反映させた計画とするため、生涯学習に関する市民アンケート調査や、市民の皆さんによるワークショップ、市民会議の開催などを予定しています。

ワークショップの参加者募集、市民会議のメンバー募集などは、具体的な内容が決まり次第、はむらの教育、広報はむら、ホームページ等で随時お知らせします。

●問合せ 生涯学習課

# ご存知ですか？奨学金制度

## 羽村市奨学金

市では、高等学校、高等専門学校（特別支援学校の高等部を含む）に入学を予定されている方で経済的な理由により就学が困難な生徒に対して奨学金を支給しています。受給資格は市内在住で、平成22年3月に中学校を卒業予定の生徒のうち、所得額が市の基準以下であることです。支給額は6万円です。詳細については、募集開始予定の11月にお知らせします。

## 国や東京都、公的機関等による奨学金制度

奨学金制度	金額(月額)	募集期間	問い合わせ先
日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会)	30,000円～	随時	日本学生支援機構(奨学事業部) 0570-03-7240
東京都育英資金	18,000円～	随時	(財)東京都私学財団 03-5206-7929
交通遺児奨学金	20,000円～	平成21年 9月30日まで	(財)交通遺児育英会 03-3556-0773
あしなが奨学金	25,000円～	平成21年 7月30日まで	あしなが育英会 03-3221-0888
私立高等学校等授業料軽減助成金	98,000円～ (年額)	平成21年 7月21日まで	(財)東京都私学財団 03-5206-7925
私立高等学校等入学支度金貸付制度	200,000円 (入学時)	入学決定直後 (入学金支払前)	(財)東京都私学財団 03-5206-7926
東京都母子福祉資金(修学資金)	45,000円～	随時	福祉保健局少子社会対策部 育成支援課福祉資金係 03-5320-4126
東京都女性福祉資金(修学資金)			
東京都社会福祉協議会 生活福祉資金(修学資金)	35,000円～	随時	(社)東京都社会福祉協議会 03-3268-7173
国の教育ローン	2,000,000円 (貸付限度額)	随時	日本政策金融公庫(コールセンター) 0570-008656

※対象、条件など詳しいことについては、各問い合わせ先にご相談ください。

「就学相談」を  
「ご利用ください」

心身に障害があると思われるお子さんの入学や進路などについて、相談を行っています。特別支援学級などの就学先の様子を知りたい場合は、見学や体験入学ができますので、お気軽にご相談ください。電話での相談も行っています。

●相談日時  
午前8時30分～午後5時まで  
(平日)

●対象

・心身の障害などにより、現在の小・中学校生活についての悩みや不安がある児童・生徒の保護者。

・来年度から、市立小・中学校の特別支援学級及び都立特別支援学校への入学や進学を希望している児童・生徒の保護者。

●問合せ  
教育総務課

## 施設探訪 郷土博物館

羽村市には「博物館」がありません。

羽村市郷土博物館は、「多摩川とともに」をメインテーマに、歴史・自然・民俗・文化、特に玉川上水について、わかりやすく展示しています。



### 「多摩川とともに」

遠く縄文の昔から羽村の歴史や文化を育んできた多摩川。先人たちは、多摩川が形成した段丘に暮らし、武蔵野台地を切り開いて今日の羽村市を築き上げてきました。

このコーナーでは、縄文時代、中世、近世の羽村の様子を展示しています。

### 「玉川上水をまもる」

玉川上水は、江戸時代のはじめに江戸の町へ生活用水を供給するためにつくられた上水道です。また、玉川上水から水を分けることで、水がなく人がすめなかつた武蔵野台地に新しい村々が開かれていきました。

このコーナーは、小学4年生の玉川上水の学習にあわせた内容になっています。

### 「農村から都市へ」

明治時代から大正にかけては養蚕業が盛んでした。昭和に入ってから、牛、豚、鶏が飼育されるようになります。羽村では、畜舎を使った養豚を奨

## 郷土博物館に行ってみませんか

励し、畑作から畜産へ切り替えることで、工業用地や市街化用地を確保し、都市化を進めました。

このコーナーでは、カニコを飼うための蚕室を再現しているほか、昭和10、20年代の羽村を写した映画を短く編集し、当時の様子をご覧いただけるようになっています。

### 「中里介山の世界」

小説家中里介山は、明治18年、羽村に生まれました。その代表作『大菩薩峠』は、明治・大正・昭和の激動の時代に28年間書き続けられた長編小説です。

このコーナーでは、介山の著作や原稿などを展示するとともに、その生涯や作品について、映像でご覧いただけるようにしています。

### 屋外展示 旧下田家住宅

多摩西部地域の標準的な農家の様子をよく残していることから、重要有形民俗文化財として国から指定されています。



住宅の中へは上がってご覧いただけます。毎日いろいろに火を入れていきますので、いろいろに腰をおろし、昔の暮らしを感じてみてください。

### 体験学習・自然観察会

郷土博物館では、敷地内の里山や周辺の草花丘陵をフィールドに、体験学習や自然観察会を実施し、自然とふれあい、自然を知っていただく機会を提供しています。

詳細はお問い合わせください。

●問合せ 郷土博物館

羽村市郷土博物館 URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html>

・開館時間 (4月～9月) 9:00～18:00 (旧下田家住宅は17:00まで) ・月曜日・年末年始休館 (月曜日が祝日の場合は開館します)  
(10月～3月) 9:00～17:00 (旧下田家住宅は16:00まで) ・☎042-558-2561 ・所在地:羽村市羽741



# 郷土博物館 企画展のお知らせ

開催中

乞うご期待!!

## 企画展 旧下田家の民具

この企画展では『旧下田家の民具』のうち食生活に関する民具を展示しています。

旧下田家で使われていた道具と、今使われている道具を比べてみることで、くらしぶりの変化の大きさをうかがい知ることができます。

開催期間：平成21年7月5日(日)まで

## 七夕(たなばた)かざり

七夕かざりを展示します。笹の葉に、ご来館の方が実際に短冊やかざりをつくってかざったり、家でもかざれるミニサイズの七夕かざりをつくるコーナーも設けています。

開催期間：平成21年7月7日(火)まで

## 企画展『みるブタ・かうブタ・たべるブタ』

昭和45年、羽村には6000頭近い豚が飼育されていました。羽村の豚は優秀で、西多摩地区や全国の品評会で好成绩をおさめています。

この企画展では、羽村と養豚のかかわりだけではなく、豚の生態や骨格からおいしい豚肉の部位まで、ブタを徹底的に解剖します。

いろいろな話題の多い「ブタ」について知る絶好のチャンスです。「みる」「かう」「たべる」の様々な側面からブタを観察してみませんか。

開催期間：平成21年7月19日(日)～9月13日(日)

●問合せ 郷土博物館

## ⅢフォトニュースⅢ 小学生が田植え体験

6月8日、市内の水田で小学生による田植えが行われました。



各小学校が総合的な学習の時間の一つとして実施しているもので、今回、初めて市内全小学校の5年生が参加しました。

●問合せ 指導室

## 図書館からお知らせ 夏休み期間中は、 開館時間が変わります



期間 7月20日(月)～8月30日(日)  
●本館…午前9時～午後8時  
●小作台図書館…午前10時～午後5時

※毎週月曜日(本館は7月20日(祝)を除く)と8月18日(火)(館内整理日)は、休館です。

●問合せ 図書館

## 小・中学校の行事予定 7月～9月

詳しくは、各学校にお問合せください。

### ●羽村東小学校

7月1日(水) 開校記念日  
7月8日(水)～10日(金) 日光移動教室  
9月16日(水) 学校公開  
9月17日(木) 学校公開  
9月25日(金) 道徳授業地区公開講座(1・2年)  
9月30日(水) 道徳授業地区公開講座(5・6年)

### ●羽村西小学校

7月27日(月) サマースクール  
8月29日(土) 星空コンサート  
9月18日(金) 特別学校公開

### ●富士見小学校

7月3日(金) サマーコンサート  
9月19日(土) 運動会

### ●栄小学校

8月27日(木) 薬物乱用防止教室  
8月31日(月)～9月4日(金) 夏休み作品展

### ●小作台小学校

7月9日(木) 学年発表会(4年)  
7月14日(火) 収穫祭(6年)  
9月26日(土) 学校公開

### ●武蔵野小学校

8月30日(日) サマーフェスティバル  
9月9日(水) 道徳授業地区公開講座

### ●羽村第一中学校

7月1日(水) セーフティ教室  
7月15日(水) 薬物乱用防止教室

### ●羽村第二中学校

7月6日(月)～10日(金) 公開授業週間  
9月14日(月)～18日(金) 公開授業週間

教育委員会定例会報告

今年度の教育委員会定例会(第3回〜6回)が以下のとおり開催され、提出された議案については、原案のとおり議決されました。

第3回教育委員会定例会

開催日 平成21年3月30日

議案

○羽村市教育委員会教育目標について

○羽村市図書館協議会規則

○羽村市図書館処務規則の一部を改正する規則

○教育委員会事務局及び教育機関の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程の一部を改正する規程

○羽村市立学校学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

○専決処分の承認を求めることについて(「教育財産の取得の申出について」)

○教育委員会職員等の人事について  
※このほか、羽村市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱、校長会などの報告がありました。

第4回教育委員会定例会

開催日 平成21年4月21日

議案

○専決処分の承認を求めることについて(「社会教育委員の委嘱」)

※このほか、羽村市通級指導学級入級指導委員会委員の任命について、校長会などの報告がありました。

第5回教育委員会定例会

開催日 平成21年5月19日

議案

○羽村市スポーツ振興審議会委員の任命について

※このほか、羽村市立小・中学校一貫教育校検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱、校長会などの報告がありました。

第6回教育委員会定例会

開催日 平成21年6月16日

議案

○羽村市立小・中学校評議会委員の委嘱について

○羽村市図書館協議会委員の委嘱について

○羽村市特別支援教育就学指導委員会委員の委嘱及び任命について

※このほか、平成22年度羽村市公立学校等使用教科用図書採択について、校長会などの報告がありました。

●問合せ 教育総務課

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel.570-0707	羽村東小学校	Tel.554-5663	小作台小学校	Tel.554-1431
図書館	Tel.554-2280	羽村西小学校	Tel.554-2034	武蔵野小学校	Tel.555-6904
郷土博物館	Tel.558-2561	富士見小学校	Tel.554-6449	羽村第一中学校	Tel.554-2012
スポーツセンター	Tel.555-0033	栄小学校	Tel.554-2024	羽村第二中学校	Tel.554-2041
スイミングセンター	Tel.579-3210	松林小学校	Tel.554-7800	羽村第三中学校	Tel.555-5131
弓道場	Tel.555-9255			羽村市教育相談室	Tel.554-1223

教育随想

「社会を学んだ山岳部」

もう40年も前のこと。学生時代、山岳部に属していました。美術大学とはいえ、夏山から沢登り、岩登りそして冬山まで幅広く活動していたものです。

一般大学と比べると美大は現役から4浪5浪までと、学年は同じでも年齢差が大きく、山岳部でも下級生が年上、上級生が年下ということがよくありました。年下のリーダーでも絶対的存在。年齢が上の部員もうまくバランスをとり、組織の中のルールを守り、お互いに相手を尊重し山を楽しんでおりました。

山登りはスポーツという部分もありますが、生活クラブに近いものを感じます。昼間は行動し、テントに戻って食事を作る。衣食住を山の中で行うということです。装備、食料、気象、医薬など担当者が各自責任をもって山に入ります。

遭難対策委員会のOBがよく言っていた言葉。山行は自宅の玄関を出た時に始まり、帰宅し玄関に入った時に終わる。そんな危機管理も教わり社会を学ぶ機会に恵まれた部活動でした。

教育委員 並木 恒延

